

学校 番号	23	学校名	更級農業高等学校
----------	----	-----	----------

令和3年度学校評議員活用状況報告書

第 1 回学校評議員会 【令和3年6月15日（火）実施】

1 実施概要（協議研究事項を含む）

- ・ 授業参観
- ・ 学校長挨拶
- ・ 学校よりの報告（学校の現状等・学校評価・生徒指導・進路指導・生徒会活動・農業教育について）
- ・ 意見交換

2 今回の実施に当たって工夫したこと

- ・ 学校評議員会に先立ち普通科および専門教科の授業を公開し、学校の様子や教育内容等を知っていただく機会を設けた。
- ・ 意見交換の時間を増やすため資料は事前に郵送し、また学校からの説明を簡略にするよう努めた。
- ・ 議論が深まるよう、委員からいただいた質問や意見に対して、関係職員に回答・補足する対話形式をとった。

3 今回話題になった事項で特徴的なものとその概要

- ・ シトラスリボン運動や、植栽等でお世話になっており地域に根差した学校という印象が強い。花壇づくりなどでは患者さんも癒されて、地域の高校として改めて実感している。
- ・ 地域では荒地などを含めた景観の向上に向けて「ひまわりプロジェクト」を立ち上げた。更農に協力を依頼し、現在連携をしながら取り組んでいるところであり大変ありがたい。
- ・ 地域の特産農産物のPRや、地域の造り酒屋やお菓子屋さん等とコラボなど、地域と学校職員が協働して充実した教育活動を創造して行って欲しい。
- ・ 生徒の学ぶ姿を見て、幅広く農業を学んでいることに興味を持った。最近ではスマート農業への取り組みも進んでいるので、高校でも取り入れて欲しい。荒廃農地を減らす取り組みも行っている。こうした取り組みを知っていただき、関心を持っていただければ幸いである。
- ・ ICT活用やタブレットの導入が進んでいるが、オンライン授業では一方通行になりやすい。個別最適化やAIもできることとできないことがあり、現場の先生の力が必要である。生徒個別の状況を把握できることは素晴らしいが、どう生かすかは先生次第である。充実した学習環境となるよう研究を深めて欲しい。
- ・ 特色ある活動を積極的にアピールしたらどうか。篠ノ井グリーン長野の広報等に掲載してもらったらどうか。

- ・今後も感染に注意しながら工夫を凝らして教育活動を継続して欲しい。コロナでは、高校のクラブ活動でクラスターの発生が報告されているが、そうならないよう日頃の感染対策の徹底を図って欲しい。
- ・先日、本校に不審者の侵入があったと聞いた。再発防止に向けた取り組みを行ってほしい。

4 成果と課題（学校評議員会以外の活用状況を含む）

- ・地域の教育資源を活用して教育目標を実現することは大切であり、それを行ってゆくのは学校側である。地域とのコラボなど地域連携を本校の教育課程の中に位置づけて、実りある教育活動として取り組んでゆくことが肝要である。
- ・農業科で行われている地域連携活動などを、本校職員が知らない状況もあるので、今後校内での情報共有を図る。
- ・本校の学びの様子をPRする手段としてJAグリーン長野の広報誌などに協力いただけることが分かった。今後は積極艇に活用してゆく。
- ・不審者対策として門扉などの夜間閉鎖や、来校者向けの掲示の更新など必要な措置を講じ、安心安全な学校づくりを推進してゆく。
- ・タブレットの導入を目前に控え、有効な活用方法の検討が急務である。